

# CO\*COLOR

コロール  
だい  
第35号  
ごう

発行日：令和5年2月20日

発行所：福祉型児童発達支援センター 栗原市立はげまし学園

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木4-53

Tel / Fax 0228-22-1623 E-mail hagemashi@kuriharacity.jp

子ども(個人)をやさしく包み込み 自分らしいCOLOR(色)を大切に・・・



## 「統合教育」の メリット・デメリット

障害のある子どもが通常の園・学校に参加して学ぶことを「統合教育」と言います。

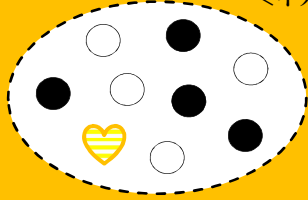
統合教育では、同年代のたくさん子どもたちと触れ合う機会が増えることから、障害のある子は社会性の成長が促されるほか、地域の中で生活できるメリットがあります。

また障害のない子にとっても得るものは大きく日常生活をともに過ごすことで、障害を特別なものと捉えることなく、自然な関係を築くことができます。

しかし統合保育は「障害のない子の集団」に「障害のある子」を迎え入れるという考え方であるため分断が生まれやすいこと、障害のある子が集団の中で孤立してしまいかねないこと、支援が十分でないことなど課題もあります。

## 統合教育とインクルーシブ教育の違いって？

<イメージ図>



統合教育

障害のない子の集団の中に  
障害のある子もいる



インクルーシブ教育

異なる特性・個性・性格の  
すべての子どもがともに学ぶ

## 「みんなちがう」が 当たり前の社会に

近年では、統合教育に代わって「インクルーシブ教育」の重要性がうたわれるようになってきました。“インクルーシブ”とは、“包み込んだ・包み込んで中に含んでいる”という意味で使われています。

あるクラスを見てみると・・・

- 👓 メガネをかけないと黒板の文字が読めない子
- 🐼 どんなに頑張っても読み書きが苦手な子
- 👤 授業中に席を立ってしまう子
- 👧 児童養護施設から通う子
- 👨‍👩‍👦 母子家庭の子
- 👦 男の子のことを好きな男の子
- 🧠 計算ができない子
- 🏃 運動がとてもしんどい子
- 🌐 海外にルーツを持つ子
- 🌏 海外から越してきた子
- 👨‍👩‍👦 父子家庭の子
- 👦 体は男の子だけど心は女の子

・・・とても多様であることに気づきませんか？

障害のあるなしにかかわらず、人は一人一人違います。生まれ育った環境や価値観、性格、学び方やそのスピード、好きなこともみんな違います。インクルーシブ教育では、人は違うことを前提として、生活や学ぶ上で難しさがある場合には、その子に合った支援をしながら、誰もが排除されず「すべての子どもがともに学ぶ」ことを目指しています。しかし、ともに学ぶためには・・・

- ・違うことをお互いが尊重する文化
- ・困ったときに助けを求められる環境
- ・多様であることを前提とした学校づくり
- ・その子の困りごとに合わせた配慮が提供されること(※)



など、学校の仕組みとともに社会も変わっていく必要があります。

(※)「障害者差別解消法(2016年施行)」で合理的配慮が義務付けられています。

「みんなちがってみんないい」社会になるためには、残念ながら課題もたくさんあるのが現実です。

しかし、その中で私たちができることもあります。それは、「自分の思う普通って本当かな？」と考えてみること。一人一人が違うことに気づいたり、お互いを尊重するということを考えるきっかけになったりするかもしれません。その輪が広がることで、社会全体も少しずつ進んでいけると良いですね！

